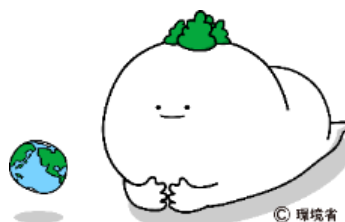


その他 提案事項



© 環境省



© 環境省

「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター
だいだらぽじー
DAIDARAPOSIE

ご利用はコチラ→

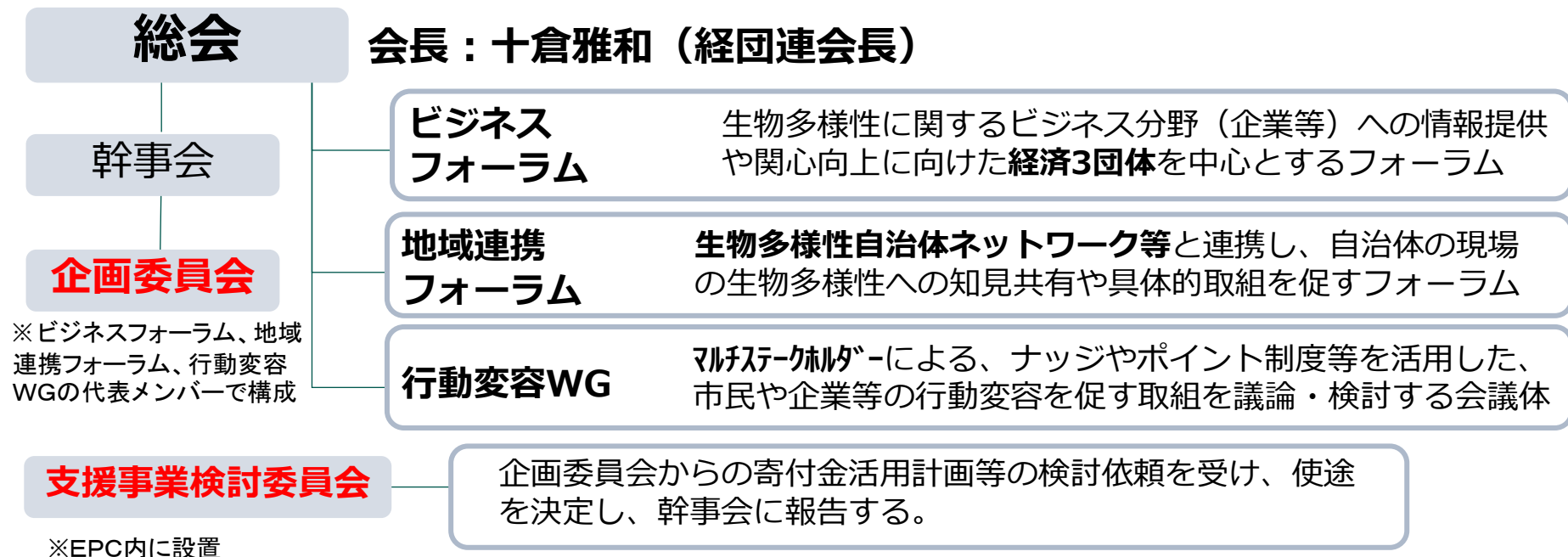


© 2023

①J-GBF設置要綱の一部改定（企画委員会の追加）について

- 企画委員会については、「J-GBF設置要綱（その他の下部組織）第7条」に基づき、第1回J-GBF総会（2023.2）にて承認いただき、幹事会の下部組織として設置。
【J-GBF設置要綱】（その他の下部組織）
第7条 本会は、総会の上承を得て、必要に応じて下部組織を設置することができる。
- 今年度の委員委嘱を機に「J-GBF設置要綱」を改訂し、企画委員会の条項を追加。

<J-GBFの全体構造>



①J-GBF設置要綱の一部改定（企画委員会の追加）について

改定（案）内容

- ・（企画委員会）第6条を追加
- ・（事務局）第9条に企画委員会に関する条文を追加

（企画委員会） ←

第6条 本会には、幹事会の下部組織として企画委員会を設置する。 ←

2. 企画委員会は、幹事会で審議を行う個別の検討事項等に関して企画及び提案することを目的とする。 ←

3. 企画委員会の委員は、ビジネスフォーラム、地域連携フォーラム、行動変容ワーキンググループの活動内容に関して専門的知見のある者、関係する事業者団体、民間団体、国及び地方公共団体の中から、環境省自然環境局自然環境計画課長が委嘱する。 ←

4. 企画委員会には相談役（生物多様性の保全や持続可能な利用に関して専門的知見のある者）を置くことができる。 ←

5. 企画委員会の委員の任期は原則として2年とし、再任を妨げない。 ←

←

（中略） ←

←

（事務局） ←

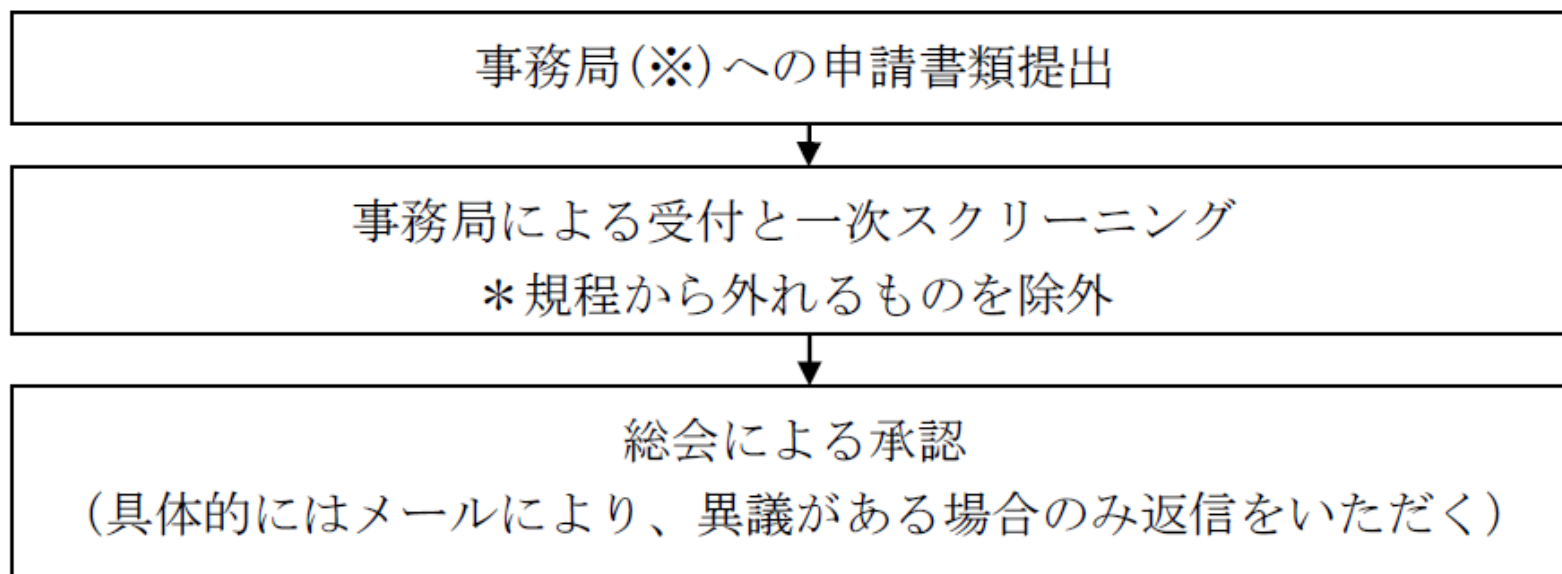
第9条 本会の事務局は、環境省自然環境局生物多様性主流化室内に置く。総会、幹事会、企画委員会に関する庶務は、事務局が行う。 ←

②J-GBFの主催、共催、後援、推薦名義の使用に関する運用について

■J-GBFの共催・後援・推薦名義使用承認申請について

- ・ネイチャーポジティブをテーマにしたイベントの増加等により、J-GBFの後援名義の申請が増加している。
- ・名義使用に関する運用について、改めて共有するとともに、使用規程の一部改定（名義使用の許可基準に関する条項の追加）について提案する。

■承認フロー（※事務局 環境省自然環境計画課生物多様性主流化室）



※事務局 環境省自然環境計画課生物多様性主流化室

②J-GBFの主催、共催、後援、推薦名義の使用に関する運用について

(参考) J-GBFの共催・後援・推薦名義 R 5実績

分類	イベント又は書籍等の名称	イベント開催日・期間等	申請者			備考
			申請者（主催等）	①J-GBF委員	②日本国の機関、自治体、独立行政法人、事務局 ③その他	
1 後援	国際生物多様性の日 2023 シンポジウム-「合意」を「実行」に。生物多様性を取り戻そう。	2023年5月15日	国連大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）、地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）、公益財団法人日本自然保護協会（NACS-J）、環境省	○	△	△（共催：環境省）
2 後援	日本版気候若者会議2023	2023年8月9日～10月29日 計7回	一般社団法人日本若者協議会	△	○	日本版気候若者会議2023事務局（複数の若者団体で運営）メンバーにJ-GBF委員JYPS遠山様が参加
3 後援	日本自然保護大賞2023	2023年10月17日	公益財団法人 日本自然保護協会	○		
4 共催	GTFグリーンチャレンジデー2023in新宿御苑	2023年11月4日、5日	GTF グレーター トウキョウ フェスティバル 実行委員会		△	○ △（共催：環境省）
5 後援	生物多様性ユースシンポジウム2023in横浜	2023年11月19日	横浜市		○	浜島室長来賓挨拶
6 後援→×	「繋がる個展 原点回帰・転」	2023年11月3日～11日	（個人）		○	お断り（J-GBF後援名義使用の運用上の内規として、個人主催のイベントに対する名義使用を認めておりません。）
7 後援	清里ミーティング2023	2023年12月1日～3日	公益社団法人日本環境教育フォーラム	○		
8 共催	INNOVATE AQUARIUM AWARD	2023年12月2日	株式会社イノカ		△	○ △（共催：環境省）
9 後援	「なごや環境大学」実行委員会主催シンポジウム「くらしの中のネイチャーポジティブ～わたしたちの選択」	2024年1月24日	「なごや環境大学」実行委員会	△	△	○ 名古屋市から申請（J-GBF委員地域連携ネットワーク名古屋시가事務局、渡邊輔佐登壇
10 後援	第27回図書館を使った調べる学習コンクール	2024年3月2日	公益財団法人図書館振興財団	○	△	△（後援：環境省）

②J-GBFの主催、共催、後援、推薦名義の使用に関する内規（改定案）

改定内容（案）

- ・（許可基準）第7条(1)項「主催者」に関する項と(2)項の一部追加

※環境省の後援名義使用承認申請の審査基準を参考とした

（許可基準） ←

第7条 第4条から前条までの本会の名義の使用は、次条に基づく主催者の申請内容が、次の各項に掲げる基準をいずれも満たす場合に許可するものとする。 ←

(1) 主催者が、次のいずれかに該当し、かつ、主催者、役員等の関係者が信用し得るもの ←

ア. J-GBF 構成団体が使用する場合 ←

イ. 国の行政機関（特殊法人、許可法人等関係機関を含む。）、国立大学法人 ←
又は独立行政法人 ←

ウ. 地方公共団体（公立大学法人、地方独立行政法人を含む。） ←

エ. 国際機関等 ←

オ. 公益社団法人又は公益財団法人（宗教法人を除く。） ←

カ. 報道機関等 ←

キ. 行事の開催を目的として設けられた実行委員会等（その事務局がアから ←
カの団体等に置かれており、かつ、当該団体等の長が構成メンバーにな ←
っているものに限る。） ←

ク. その他上記各号に準ずると認められるもの ←

(2) 行事等の内容が、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすものであること。 ←

ア. 行事等及び映像・書籍等の内容が本会の目的に沿った、生物多様性の主流化に資す ←
る内容であること。 ←

イ. 行事等及び映像・書籍等の内容が公序良俗に反するものではないこと。 ←

ウ. 行事等及び映像・書籍等の内容が政治的若しくは宗教的な意図を有す ←
るものではないこと。 ←

エ. 行事等の収支計画が確実であって、その透明性が確保されていること。 ←

オ. 過去に J-GBF 構成団体の後援等の名義の不正使用及び虚偽の申請が認められた ←
団体である等として J-GBF 構成団体から異議が寄せられないものであること。 ←

②J-GBFの主催、共催、後援、推薦名義の使用に関する内規（改定案）

（参考）環境省後援等名義の使用承認申請について（環境省HPより該当部分抜粋）

審査基準

（１）主催者が、次のいずれかに該当し、かつ、主催者、役員等の関係者が信用し得るもの

- ア. 国の行政機関（特殊法人、認可法人等政府関係機関を含む。）、国立大学法人又は独立行政法人
- イ. 地方公共団体（公立大学法人、地方独立行政法人を含む。）
- ウ. 国際機関等
- エ. 公益社団法人又は公益財団法人（宗教法人を除く。）
- オ. 報道機関等
- カ. 行事の開催を目的として設けられた実行委員会等（その事務局がアからオの団体等に置かれており、かつ、当該団体等の長が構成メンバーになっているものに限る。）
- キ. その他上記各号に準ずると認められるもの

（２）行事等の内容が、次の各項目に適合するものであること。

- 環境省の所管行政の推進、普及又は啓発に積極的に寄与すること。
- 主催者又は特定の参加者が行事等の実施等から直接利潤を得るなど、営利を主たる目的としないこと。
- 行事等の収支計画が確実であって、その透明性が確保されていること。
- その目的が広い地域又は国民一般を対象とするものであること。なお、対象者が制限されている場合においては、その対象者を通じて広く啓発効果が見込まれる場合に限り認めることとする。
- 環境保全に寄与する行事等として、すでに広く一般に普及し、または、全国で多数の主体によって実施等されており、名義使用の承認による環境保全意識等の啓発効果がわずかしか認められないものでないこと。
- 行事等の開催について、事故防止、感染症対策、廃棄物対策、温暖化防止対策等に十分な措置が講ぜられていること。
- 特定の企業、商品又はサービスの宣伝等に利用されないこと。
- 過去５年以内に後援等の名義の不正使用及び虚偽の申請が認められた団体からの申請ではないこと。
- 行事等の登壇者や発言者等が２人以上いる場合、その性別に偏りがないよう努められているものであること。